



FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第 67 号 2017.12.27

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

八雲牧場から 学生実習終了

7月3日のE科を皮切りに開始された今年度の牧場実習もZ科、医学部と次々来場し、そして9月のヤマザキ学園大学の学生実習を最後に今年度の実習を無事に終了することができました。

今年は、涼しい夏で雨の日もありましたが実習に参加した学生にとっては過ごし易い良い気候だったと思います。

例年のことですが、家畜を扱うということで学生の安全には非常に気を配っています。また、実習所においても暑い時期の食事でもあり、大変気を使いながら調理しています。そんな中、何事もなく最後に笑顔で帰っていく学生を見送ることが、私たち職員にとっても一番嬉しいことです。



牛の大移動風景です



牛は川も渡ります



牛の保定の様子



最後は打ち上げ、バーベキュー

各種来場者および視察

去る、9月7日に諏訪市農業委員会の皆様が視察に来られました。その翌日の9月8日には普及センターの職員研修で10名が、次の週の9月15日には上智大と八雲町の関係者が15名が、また同じ週の9月18日から23日までの期間には卒論テーマの情報収集のために早稲田大学より学生さんが1名来場されました。

9月25日には鹿児島県立農業大学校より2名視察に来られました。

視察見学の場合、場内の施設を一通り案内し、展望台から牧場を一望してもらい、帰りに牛群を観察して最後に牧場の堆肥施設を見学してもらいます。

来場された皆様は八雲牧場の取り組みや堆肥の臭いのなさに大変興味を持たれていました。このように、最近八雲牧場には全国から視察に来場され、北里八雲牛の認知度が上がってきたことを裏付ける成果と大変うれしく思います。

(編集担当：畔柳 正)